

馬洗川の源流と 分水嶺となる台地を歩く

深田橋 スタート

歩行距離 約3.0km

深田橋へのアクセス (深田橋バス停で下車)

- 上大岡、港南中央から 横浜市営バス51系統
- 上永谷駅から 横浜市営バス45系統・112系統
- 港南台駅から 横浜市営バス45系統

地図記号

地図上の がウォーキングコースです

📖「ふるさと港南の昔ばなし50話」とのリンク

🗿 寺 🏯 神社 📮 郵便局 🚌 バス停

🌊 谷地 ※谷地は水が流れており、源流域を示しています。

2 浄念寺

正式名称: 蔵王山正定院浄念寺

野庭の開発者の一人、臼居空右衛門
胤知氏が寺院を開き、呑曇大和尚が
1564年開山、御獄社(野庭神社)の
別当寺*でもあり、鎌倉観音三十三
カ所霊場第十八番札所となっている。
※神社を管理するために置かれた寺のこと



2 石 (浄念寺)

関城跡から発掘された石と言われている。
昔、村の青年たちが寺の境内でこの石を持ち上げては力自慢を競い合っていたという。後ろのマキの木は推定樹齢500年と伝えられ、横浜市の名木古木に指定されている。



2 咳止玄入坊の祠 (浄念寺)

港南区の民話では、次のように紹介されている。

昔、旅の僧である玄入坊は、咳の病に苦しむ上野庭の里の村人を救うため、お経の音が聞こえるうちは、一日三回水だけを流し込むよう伝えて、穴の中に消えていった。その後村人は救われたため、玄入坊に感謝と悲しみをこめ、塚を築き、石の祠を建てたと言われている。玄入坊の祠は、お茶の入った竹筒をお供えし参拜することで、咳などの病が回復すると言われ、多くの人が参拝した。回復後もお礼に竹筒を祠の周りにお供えすると言われている。



塚の古址 D-4



スタート地点を設定していますが好きなところから始めてみよう!

区間距離

- 1 730m
- 2 360m
- 3 1,080m
- 4 780m

コース・周辺の紹介

港南区には大岡川を始め、多くの河川がありますが、その源流となると各河川は市街地化して暗渠*となってしまう、それを辿ることが難しくなっています。大岡川の源流となる氷取沢以外では、馬洗川の源流が辛うじてその雰囲気を残しています。野庭団地一帯は開発前、大きな源流域であったと想像できます。遊水池が周囲にあり、そこに貯まった水は馬洗川に注いでいます。ここで紹介するコースは、馬洗川の源流となる畑地を歩き、坂を上り台地に出ます。この馬の背状の台地を分水嶺と言います。日野側に流れた雨水は日野川・大岡川に注ぎ、横浜港・東京湾に流れ、野庭側に流れた雨水は馬洗川・平戸永谷川・柏尾川となり戸塚を経て鎌倉から相模湾に注いでいます。しばらくの間、迎陽隧道の上の小径を通り分水嶺となる台地を歩きます。

コースの途中に見所となる浄念寺 2 がありますので、立ち寄ってみてください。

※地下に埋没した水路のこと



A 源流となる畑地



B 源流となる畑地



C 源流となる畑地



このコースではトンネルの上を通ります



4 野庭表町公園(通称タコチュー公園)

港南区の民話 ~民話に親しもう~

- この区域の昔話
- D-3 咳止め玄入坊
- D-4 塚の古址

港南区の民話はHPで紹介していますのでぜひご覧ください。

ふるさと港南の昔ばなし

